

# ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62

NAOHARU TODA

OGAKI CHAMBER OF COMMERCE  
KURUWAMACHI OGAKI GIFUKEN JAPAN



NO.11

昭和32年3月15日

(March, 15, 1957)

第62区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー 戸 直 温  
第62区ガバナー 戸 直 温

## ○ ロータリーの精神 (Ideal of Rotary)

R.I.会長ラシング氏は次の如く述べて居ります。「私は素朴な途こそ最も良いものであると信じて居る。然るに私達は往々文辞をのみ強く飾つたり或は左程重要でない事に力を入れ過ぎる、即ち只外見に捉はれたり或は形式にのみ拘泥したりする事がある。私達は吾々の理想とする所までは未だ達して居らない事を自覚して真摯に之れに到達する様努めなければならない。私達須らく素朴、純真であるべきである。

ロータリーは創立されてから52年経つたけれども未だ其理想及び精神が完全に全てのロータリアンに知られて居ない様にも感ぜられる。即ち ロータリーのバッヂを附けるのみがロータリアンであるとして 真のロータリーの目的を解せず或はロータリーが如何に他の団体と異つて其活動をして居るかを知らうともしない ロータリアンも多々ある。世の為めに奉仕する事が其悦びと楽しみであることを自覚せずロータリーを深く身に着けて居ないものが相当ある様に思はれる。斯かる会員にはロータリーの理想精神を強く教へ込み 又ロータリーの組織綱領が

如何に優秀なものであるかを大に認識させる必要がある」それでラシング会長は「ロータリーは簡潔に」ロータリアンはもつと ロータリーを」「お互にもつと知り合はう」との三標語を其指導目標としたのであります。各クラブを公式訪問して感ずるのは ラシング会長の憂へて居る様な事が偶々見受けられるのは甚だ遺憾の極みであります。之れ等は新しい会員にも並古い会員中にも認められます。ロータリーの理想目的には余り関心を持たず 或は熱心の余り 精神を忘れて、さまで必要でない瑣事や形式にだけ拘はつて大事を忘れ 或はロータリー精神より逸脱する事を間々感ぜられます。ロータリーの綱領として掲げられて居る事が吾々の真の目的でありそれが理想であります。奉仕友好の精神 凡て此綱領から発して居るのであります。此綱領を真に明確して身に着けて頂きたい。アツヤンブリーに於て、フォーラムに於て又各ミーティングに於て常に此綱領を基として研究討論して頂きたい。斯くすれば自然ラシング会長の指導目標にも副い又自づとロータリーの精神も身に附いて来るのであります。形式に流れず質実に ロータリーの途を歩いて頂きたい。之が

ロータリーであり又ラング会長の望みであります。

## ○ 地區協議会 (District Assembly)

第62回協議会を4月2,3両日名古屋で開きます。ホストクラブである名古屋クラブから各クラブへ御案内状とプログラムを御送り致します。地区協議会は1957~58会長及び幹事の為に開かれるものであります。次期会長及び幹事は出席が義務付けられて居り欠席の場合はR.I.本部まで其旨報告する事になつて居りますから必ず出席を願います。其講師リーダーとして次の諸君を御願いする事にして居ります。

### 第一日

ロータリー文献	笹 部 誠 (川崎)
クラブ奉仕	山 本 貞 (豊橋)
職業奉仕	小 川 恵 正 (津島)
社会奉仕	真 柄 要 助 (金沢)
国際奉仕	飼 谷 賢 太 郎 (名古屋)
ロータリー奨学資金	永 沼 政 久 (横浜)

### 第二日

会長部門	戸田ガバナー
幹事部門	柳瀬パストガバナー
一般部門	モデレーター 伊藤パストガバナー
パネル	山 本 貞
"	小 川 恵 正
"	真 柄 要 助
"	飼 谷 賢 太 郎

## ○ 第二クラブの結成

### (Forming of Additional Club)

前号にも記載して置きましたがR.I.幹事ミーンズ氏から理事会でも決議された次第もあり、現在クラブの存在している地域内で尙一つのクラブを作る余地のある所では第二クラブを作る様努力されたいとの勧告がありました名古屋、岐阜では2月中に別のクラブが結成され、他に大きい都市では第二クラブ結成の計画或は動きがあるのを見て甚だ悦んで居る次第です。6月下旬には甲府で地区幹事会を開く予定にして居りますから新クラブがそれまでに結成され其クラブの幹事が此の幹事会に出席が出

来るとロータリーの精神目的も早く理解されクラブの運営にも萬事好都合と存じます。尙第二クラブのみならず新しい地域にロータリークラブ結成の計画中のスポンサークラブ、特別代表の皆様も亦上述の方針で尙一層の御尽力を願います。

## ○ 三つの新クラブ (3 New Clubs)

横浜クラブの高岡鎮彦君が特別代表として平塚市に平塚クラブ、名古屋市内には名古屋クラブの荒川長太郎君が特別代表として名古屋南クラブ、岐阜市内には岐阜クラブの山崎一君が特別代表として岐阜南クラブを結成されました。此三君に対して其御骨折りを大に感謝するものであります。何れもまだ仮クラブですがR.I.本部に其承認を申請中です不日国際ロータリーに加入を承認されて本クラブとして進ますが只今より其発展を祈り大に期待して居る次第です。尙平塚クラブは金曜日、名古屋南クラブは水曜日(名古屋商工会議所)岐阜南クラブは木曜日(レストラン協和)にそれぞれ例会が開かれます各クラブからも其前途を祝福して大に此新クラブに出席を望みます。

## ○ 公式訪問の感想

### (Impression on Official Visits)

2月17に七尾クラブを公式訪問致しました。七尾は創立後未だ年数も経つて居りません、それに能登半島に孤立して居つて甚だ地の利も良くありません。故に他クラブからの viziter も非常に少く此クラブからもメールアソブ等で他クラブに出席する事も少く甚だ此点不利の点は同情に堪えません。七尾は終戦前迄は北陸の要港として出入船舶も相当多かつたのですが終戦后は非常に寂しくなつて居ります、併し此港への出入には水先案内人を必要としますが永年の経験者で唯一人の水先人は窮乏生活に耐えて七尾港の為めに現職に踏み留まり水先案内に当つて居られます誠に奇特者であります此方をクラブでは表彰して一般の同情を興起しました。之れこそ其地方に対する真のロータリー精神を發揮させものと存じました。又国旗の掲揚方の印刷物を市民に配付し高等学校卒業生を招いてクラブ会員全部が分担して面接就職後の

心得などに付き懇切に指導を与へ后学校当局者との座談会を開いた。之れは青少年奉仕として最も良きロータリー活動と認めました。

次に小松クラブを訪問しました。会長河村栄太郎氏は文学博士で博学の人例会には常に萬般に直り講話をして会員の啓発に努め居られます。附近に米軍のキャンプもあるので其将士と緊密なる連絡を保つて国際親善に寄與されて居り、殊に学生の英語弁論大会を催して其審査委員は同キャンプに依嘱して居られます。之れなど国際親善と青少年の指導との両者を兼ねるものです。今后とも一層各奉仕部門に活躍を祈ります。

続いて金沢クラブに参りました。金沢は古いクラブの事とてヴェテランも多く種々活躍をされて居ります。身体障害者で其障害を克服して已が職業にいそしんで居る人と共に其家族も内助の功ありとして表彰をせられて居ります。内助者として家族を表彰されたのは大に意義ある事と存じます。青少年問題に関しては「青少年の不良化の原因は家にあり」との小ポスターを市民に配布し又青少年の宗教心を助長せしむる為めの講演会を開くとの事、誠に絶好な企てと存じます。青少年問題は現下最も重要なものです。尚一層の御努力を願います。

2月28日に飯田クラブを公式訪問しました。同クラブは昨年6月下旬に結成された新しいクラブで今回が始めての公式訪問でありました。飯田は交通不便の所で地の利を得て居りません。他からのダイジターはスポーツクラブの豊橋から丈けと云う事で此クラブからも殆ど他のクラブへ出席される事はない様です。此点は山崎に離れて位するクラブの事とて御同情に堪えません。同市には有名な林檎樹の並木があり其実った林檎は少しも寄らずに街の美観となり市民の公徳心を讚えられて居ります。クラブでは尙之に美観を添え緑化の目的で檜葉を植樹されました。三年計画で尙此植樹を完成の計画を建てられて居ります。公徳涵養の一助として又青少年指導等も一層強化を願います。此クラブは会員も少く大に会員間の友好も親密なるべき筈です。大にロータリーの精神理想に則つて今后優秀なるクラブとなられる様に切望して已みません。

## ○ 盛田ガバナーノミニー

(Governor Nominee Shuhei Morita)

盛田ガバナーノミニーは名古屋で開催される地区協議会に出席され直に4月早々米国へ出発されます。米国レーキプラシッドでガバナーノミニーの為に開かれる国際ロータリー協議会に出席次いで瑞西ルセルンで開かれる国際ロータリー大会に出席され6月中旬に御帰朝の豫定です。一路平和1957～58ロータリーの新方針其他を豊かに胸に収めて無事御帰朝を衷心から御祈り申し上げます。

## ○ 三重県内インターシティフォーラム

(Intercity General Forum in Matsusaka)

2月23日松阪クラブがホストクラブで三重県内各クラブのインターシティフォーラムが松阪商工会議所で開かれました。伊藤パストガバナーにフォーラムリーダをお願いして又柳瀬パストガバナー柏原文献委員にも臨席頂いて各クラブからの出席会員78名で有效盛会裡に終りました。各会員からも活潑熱心なる発言があり寧ろ時間の足りない位ありました。茲に伊藤、柳瀬、柏原の諸賢に其懇切なる御指導を謝すると共に参会各会員も其疑問とせらるゝ所も氷解して今后大にロータリーの目的達成に努められる事と思い又それを祈ります。4月20日には藤沢クラブがホストクラブで神奈川県内各クラブのインターシティフォーラムが開かれます。此フォーラムには甲府クラブも参加を願う事にして居ります。何れ藤沢クラブから御案内状を出されます但多数の会員が振つて出席される様希望します。

## ○ 会員証 (Membership Card)

会員証は各会員が其所属クラブの会員であり、又R.I.本部への負担金を納附したとの証明でもありますから本部負担金を納附して半年毎に書き替えるものです。各幹事諸君は已に1月本部負担金を納附されると同時に会員証に30 June. 1957と記入署名の上各会員に渡された事と思いますが若しまだ此手続の済まない所では至急所定事項記入の上旧会員証と取り替えられる様願います。

○ 1957国際大会のクレデンシャル  
(1957 Convention Credentials)

本年瑞西国ルセルンで開かれる1957国際ロータリー大会へ提出すべきクレデンシャルは各クラブへ至急それぞれ記入幹事署名の上当ガバナー事務所へ送附方御通知して置きましたが未だ御送附なきクラブもあります。至急御送附を願います。此クレデンシャルは盛田ガバナーノミニーが此大会に出席の際各クラブからの委任状として提出されるものでありますからよろしく願います。

○ ロータリー財團奨学資金寄附  
(Rotary Foundation Fund)

クラブ名	據金額 ¥	新会員 (\$10—)	旧会員 (\$1—)
藤 沢	7,200	2名	一名
刈 谷	10,440	—	29
川 崎	11,880	3	3
名 古 屋	10,800	3	—
岡 崎	7,200	2	—
大 垣	10,800	3	—
磯 波	10,800	3	—
上 野	3,600	1	—
横 須 賀	3,600	1	—
合 計	76,320	18	32

(アルファベット順)

第62區 1957年 2月分 出席率表

今月順位	クラブ名	例会数	今月末会員数	対期初会員数	増 減	出席率 算出の会員数	出席率
1	川 崎	4	57	+ 5	57	100.00	
2	横 須 賀	4	44	+ 8	44	100.00	
3	高 岡	4	34	=	34	100.00	
4	伊 東	4	27	=	27	100.00	
5	熱 海	4	26	+ 2	26	100.00	
6	一 宮	4	41	+ 6	41	99.40	
7	津 島	4	29	+ 3	29	99.17	
8	伊 勢	4	32	+ 2	32	98.50	
9	横 浜 東	4	32	=	32	98.41	
10	清 水	4	39	+ 1	39	98.08	
11	藤 沢	4	26	+ 2	26	98.08	
12	沼 津	4	45	=	45	97.78	
13	名古屋西	4	51	+ 4	51	97.55	
14	浜 松	4	50	+ 10	49	96.91	
15	刈 谷	4	29	+ 2	29	96.55	
16	四 日 市	4	51	- 1	51	96.05	
17	岡 崎	4	37	+ 2	37	95.83	
18	尾 西	4	29	+ 9	29	95.69	
19	大 垣	4	38	+ 2	38	94.52	
20	豊 橋	4	48	+ 1	47	94.14	
21	吉 原	4	32	- 1	32	93.92	

22	静 岡	4	48	=	48	93.80
23	半 田	4	32	+ 2	32	93.66
24	上 野	4	35	+ 1	35	93.57
25	岐 阜	4	49	=	48	93.25
平均出席率						92.54
26	蒲 郡	4	26	+ 1	26	91.35
27	小 田 原	4	31	=	31	91.13
28	名 古 屋	4	114	+ 2	113	90.93
29	松 阪	4	38	- 1	38	90.90
30	多 治 見	4	32	+ 7	32	90.60
31	富 山	4	49	+ 2	49	90.30
32	横 浜	4	97	+ 2	93	89.30
33	金 沢	4	72	=	72	88.20
34	桑 名	4	36	=	36	88.19
35	津 島	4	37	+ 2	37	87.82
36	磯 波	4	26	- 1	26	85.58
37	七 尾	4	21	+ 2	21	85.56
38	小 松	4	34	- 1	34	85.29
39	甲 府	4	38	- 1	38	84.85
40	美濃	4	21	=	21	84.52
41	松 本	4	30	- 2	30	84.03
42	魚 津	4	23	=	23	81.50
43	飯 田	4	31	+ 6	31	79.06
44	高 山	4	29	=	29	77.59
合 計			—	1,746	1,788	92.54